

2021
6・21

月4回
月曜日発行

第1202号

週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所
〒104-0061
東京都中央区銀座7-17-12 2F
TEL 03(3543)7421
FAX 03(3543)5839
発行人 垂澤清三
年間購読料 30,000円(税込)
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
亀岡大郎取材班グループ

ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所
代表取締役 出村 亜希子
奈良女子大学大学院修了後CM
会社を経て現職。一級建築士、
宅建士。「倉庫ドクター」とし
て建築面からオーナー支援に取り
組む。

レイアウトにし、新規の壁を構築する際は、既存のパッケージを組み替えてつくりました。

フリーアドレスオフィスは、効果的な運用スキームを構築するII期プロジェクトは、現在進行形で進化しています。運用ルールを策定しながら、さまざまな指標について定量的観測を行い、効果的分析を実施しています。

「空間を最大限に生かす」という点に關しては、60坪を刺激して働き方を最大化させました。ユニケーションも活発になり、総労働時間の短縮やペーパーレス化といった数値的效果も見られ、生産性の向上にもつながっています。

「空間を最大限に生かす」

「費用を抑える」

「空間を最大限に生かす」

「谷口運送130年の歴史を表現」の3つに集約されます。

第38回「コロナで変わるフリーアドレス 後編」

「130年の歴史の表現」。これは、洗練だけを求めても、逆に何でも残せば良いわけでもありません。何を次世代に受け継いでいくのか、その会社のあり方やコンセプトを徹底的に検討することで、ニューノーマルに対応した働き方改革の推進、生産性の向上も志向しつつ、会社や組織のイノベーションにつながります。

「新しい価値を生み出すものかどうか」です。例えば今回は、既存の大型キャビネットを元の位置のまま活用する

「新しい価値を生み出すものかどうか」です。例えば今回は、既存の大型キャビネットを元の位置のまま活用する